



千葉榮子さん(花泉町日形)

★市長賞

■カンナ、マリーゴールド、トレニア、アゲラタム、ハナナンパン、ペコニアなど



今年は定番のマリーゴールド、サルビアを始め、球根から育てたカンナなど30種類を植えました。本数は約1万本です。生え揃ったときの花の背丈や配色にもこだわりました。自宅前の沿道にも花を植え、訪れる人たちを出迎えます。毎年テーマを考えることも楽しく、私の生きがいになっています。



松田琢治さん(大東町鳥海)

★市長賞

■カンナ、マリーゴールド、サルビア、メランポジウム、マツバボタン、ケイトウなど



平成21年から花壇づくりに取り組んで6年目。他の人が手掛ける花壇を見て歩き、研究を続けています。花に手を掛け、身体を動かすことで健康に暮らしています。このまま面積は増やさずにバランス良く配置して育てていきたいです。来年は新しい品種に取り組みたいと思います。

岩淵良治さん(大東町曾慶)

★教育長賞

■ケイトウ、マリーゴールド、サルビアなど



花壇の中央には「ILC TOHOKU」の文字をあしらいました。電子と陽電子が衝突する地点にも細工を施してあります。ILC誘致という一関市の夢が実現することを願っています。



佐藤トキ子さん(藤沢町砂子田)

★教育長賞

■サルビア、マリーゴールド、ヒヤクニチソウなど



会社を定年した後、趣味だった花づくりを本格的に始めました。沿道を通る人たちの気持ちが、花を見ることで安らいでくれたらうれしく思います。苗も家族で手づくりしています。



佐野原集落公民館

★教育長賞

■サルビア、マリーゴールド、アゲラタム、カンナなど



代表 岩淵茂樹さん(花泉町老松)
花壇は4カ所。花の種類は8種。総面積700平方メートルに約1500本を植えました。花の苗は集落内で栽培。購入した苗は1本もありません。地域の総意で取り組んでいます。



上中倉地域花壇

★教育長賞

■マリーゴールド、サルビア、ハツユキソウなど



代表 佐々木カツミさん(東山町長坂)
平成9年から交流の場として始めた花壇づくり。毎年、花づくりを通して地域の人々と楽しく作業しています。よい思い出づくりができています。



「今年はどういう風に植えようか。」
それぞれの思いが詰まった魅力的な花壇。



高成自治会・子供会

(川崎町薄衣)

★審査員特別賞



「三世代いっしょに笑顔あふれる地域の和」をテーマに、会員の持ち味を生かしている

竹沢集落振興会

(東山町河津)

★審査員特別賞



テーマは「ILCを一関へ」。振興会を中心に、集落一丸となった取り組みが自慢

舞川1区自治会

(舞川)

★審査員特別賞



活動は昭和55年頃から30年以上も続く。小さかった花壇も徐々に広がっている

神ノ前班

(千厩町清田)

★審査員特別賞



通行する人やドライバーの心の癒やしになればという思いで花壇づくりを始めた

巻畑老人クラブ

(川崎町薄衣)

★審査員特別賞



美しく咲いた花を見てクラブ員の心は一つに。協力し合って作業に取り組んだ

通るたびに目を奪われる
美しく、色鮮やかな花の街道
道を歩いていると一際目立つ赤や黄色の花々。
周囲を明るく照らす花の街道がありました。



仏坂自治会

(千厩町警清水)

★奨励賞



テーマは「祝・三陸鉄道」。大船渡線も全線がレールでつながってほしいと願う

遠藤清子さん

(室根町折壁)

★奨励賞



花の成長はまちまち。苦労は絶えないが、審査に合わせた生育を心掛けた

一関市舞川小学校

(舞川)

★奨励賞



地域と協力して作った花壇。児童も植物や自然を大切に育てる心を育んでいる

株式会社オヤマ

(室根町折壁)

★奨励賞



ツツジで燃える室根山をイメージしてサルビアを山の形に植えた

七日町自治会

(藤沢町黄海)

★奨励賞



平成元年に豊かなむらづくり東北農政局長賞を受賞。3カ所の花壇を手掛ける

全体審査講師

審査委員長
一関農業改良普及センター
須貝克晴普及課長



▷「一般花壇部門」では、テーマを設けて設計しているものや、多くの種類の花で華やかに仕上げたもの、地形を巧みに生かしたものなど、趣向を凝らした花壇づくりに感銘を受けました。
▷「フラワーロード部門」では、沿道の高低差や配色を巧みに利用し、立体感や華やかさを演出するなど工夫が見られました。
▷「まちなか部門」では、道路沿いにハンギングバスケットやプランターを配置し、見事

な花を咲かせていました。花を通じて地域のつながりも一層深まったことと思います。
▷花壇づくりは、花を育てることにより豊かな心が育まれ、地域で取り組むことで住みよい地域づくりにもつながると思います。
▷いずれの花壇も手入れが行き届いており、日々の努力には敬意を表します。今後は、新しい種類の花を導入するなど、多様な花づくりに挑戦してみても楽しいのではと思います。

銅谷民区(銅谷町)

★教育長賞

■ハンギングバスケットとプランターは51個、ニチニチソウ、ペチュニアなど



代表 三浦信雄さん(銅谷町)
銅谷中心部の6差路「追分」には昔からの道しるべがあり、旧秋田街道と萩荘方面との分岐点です。銅谷民区の通りにハンギングバスケットを整然と設置しました。



日々の散歩道に彩りを見応えある新たな景観

